



琵琶湖のさかな外来種 オオクチバス(ブラックバス)、ブルーギル、雷魚(カムルチー)…
 @琵琶湖博物館水族展示室(草津市)

環境保全技術講座
宇部IECA設立25年目記念
～琵琶湖の環境研修ツアー～

宇部環境国際協力協会は設立25年目を記念して琵琶湖の東岸南部地域の環境研修ツアーを企画しました。冬も近づく2022年11月4日にJR新山口駅を8名で出発、1泊2日の日程で琵琶湖博物館、兵主(ひょうず)大社、近江八幡市に位置する琵琶湖最大の内湖である西の湖ヨシ原、湖辺の郷 伊庭、安土城郭資料館などを視察しました。次ページに参加者/小林さんの寄稿文を記載しました。



環境保全技術講座 ～琵琶湖の環境研修ツアー～

- ・見学先：琵琶湖博物館、兵主大社、西の湖ヨシ原、湖辺の郷 伊庭町伊庭、安土城郭資料館など
- ・日時：2022年11月4日(金)～5日(土) 2日間
- ・参加人数：8名
- ・共催：NPOうべ環境コミュニティー、宇部志立市民大学環境・アート学部OB会
- ・後援：宇部市
- ・研修概要：1) 琵琶湖博物館学芸員/芳賀裕樹氏のご講義を受講しました。琵琶湖の有機物や無機物による水質汚濁、工場排水や生活排水による富栄養化（窒素、リン）、市民による石鯛運動(*)のお話を伺いました。(*)石鯛運動：赤潮の発生を機に、リンを含む合成洗剤の使用をやめ、天然油脂を主原料とする粉石鯛を使おうという県民運動。
- 2) 近江八幡の水郷は国の重要文化的景観第一号に選ばれました。その景観地域の中で、ラムサール条約湿地にも登録されている西の湖のヨシ原を手漕ぎ船で遊覧しました。船頭さんからヨシとアシの見分け方、淡水真珠の養殖と養殖技術の海外移転、また時代劇の撮影などのお話を伺いました。
- 3) 湖辺の郷伊庭では、周辺を散策しながら伊庭景観保存会代表/沖氏からお話を伺いました。伊庭川の本流が集落を流れ、集落の内部や周囲はカワやホリと呼ばれる水路が縦横に張り巡らされました。かつては飲料や日々の洗い物、風呂に使用され、現在でも水路へ降りる階段、洗い場が残っています。また内湖は重要な交通路で、ほとんどの家々は敷地が水路に面し田舟を所有していました。隣家を気遣って汚い水は流せない、こうした市民の意識により水郷周辺の環境が守られていました。

宇部志立市民大学環境・アート学部OB会会員 小林立夫さん寄稿

昨年11月初めに宇部IECA主催、市民大学OB会共催という形で、滋賀県琵琶湖の南東部にある野洲市、近江八幡市、東近江市へ1泊2日研修ツアーに参加しました。琵琶湖への集水はほぼ周辺全域から流れ込み、1級河川だけでも125本もありますが、その一方で流出は近畿方面へ向かって瀬田川と琵琶湖疎水の2本だけだそうです。野洲川の三角州より北部は平均水深43mで比較的貧栄養化ですが、南部は水深4m以下と浅く富栄養化しています。以前は湖岸に多くあった内湖と言われる湖沼はその大半が埋め立てられました。高度成長期以後、公害防止と環境対策のために近畿府県は琵琶湖条例を施行し、琵琶湖・淀川水質保全機構を設立し、最近では総合保全計画「マザーレイク21計画」を策定するなど琵琶湖の保全活動を推進しています。こうして琵琶湖は近畿の水がめとして、下流の京都大阪など1,300万人の生活・農業・工業の用水を賄っています。琵琶湖の東岸に位置する近江地方は地歴において攻防の激しい封建時代を経ており、自然・歴史・経済・文化において、また地域の特性を生かした産業において、その豊かさが感じられました。この地域の風土や現況について、わずかながらも知見を得て有意義に旅を終えました。

研修ツアー風景



琵琶湖博物館 講義（草津市）



兵主大社楼門（野洲市）



西の湖ヨシ原（近江八幡市）



田舟：伊庭の水辺（東近江市）

2022年度 JICA青年研修 インドネシア：都市環境管理コース オンライン研修

インドネシアの将来の国づくりを担う青年11名が参加して、都市環境管理コースのオンライン研修を実施しました。研修ではまず宇部市が経験した激甚な粉じん公害を「宇部方式」により解決した歴史を学びました。次に、宇部市の環境政策、環境保全対策、SDGs、廃棄物管理などの取り組み、水俣市の廃棄物管理とコンポスト家庭ごみ処理機「キエーロ」の紹介をうけ、宇部市内の企業による食品廃棄物の飼料化、プラスチックリサイクルなどについても学びました。さらに、環境保全活動における行政と市民の連携や市民による環境への取り組みを、講師や市民との質疑応答を通じて肌で感じながら、幅広い環境保全対策と技術、環境に携わる人づくりなどを理解しました。

- 研修実施主体：JICA 中国、宇部環境国際協力協会
- 期間：2022年12月5日(月)～ 22日(木) 14日間
- 研修員：インドネシア青年行政官10名、JICAインドネシア事務所職員
- 講師：宇部市、宇部市上下水道局、水俣市環境クリーンセンター
宇部港東見初広域最終処分場/宇部興産コンサルタント(株)
(株)アースクリエイティブ、(株)広島企業
山口大学名誉教授、山口大学大学院教授、宇部フロンティア大学短期大学部教授
宇部市環境まちづくりサポーター



オンライン研修風景



開講



閉講式を実施し、修了証書を授与しました



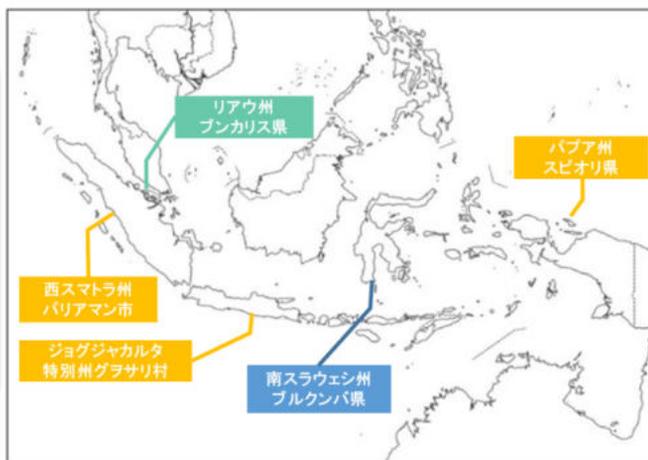
インドネシア
研修員の所在地

JICA青年研修

- パプア州スピオリ県
- 西スマトラ州パリアマン市
- ジョグジャカルタ特別州グワサリ村

環境ウェビナー

- 南スラウェシ州ブルクンバ県
- CLAIR “環境ヒーロー” 育成事業
- リアウ州ブンカリス県



研修員によるインドネシア現地での活動発表と今後の抱負

今回の青年研修に参加した研修員のジャックさんから、インドネシア東部パプア州ピアク島スピオリ県で実践している“トラッシュヒーロー”運動が紹介されました。この運動はボランティアの若者と子供が主体となってごみ拾い清掃活動を毎週継続的に実施することを中心におき、その目的として環境美化とプラスチック廃棄物の散乱防止を笑顔で楽しく推進すること、並びにその動機付けと行動の支援をすることにあります。2013年にタイで創設されて以来、ミャンマー、インドネシア等の東南アジア諸国とチェコ、ルーマニア他の欧州各国で賛同を広げ、現在では世界16か国、139拠点で運動が続けられています。日本では2019年に大分で拠点が登録されました。

TRASH HERO WORLDのホームページ: <https://trashhero.org/>

2013年～2022年の活動紹介YouTube動画: <https://youtu.be/SZKKwH0dEKE> (0はゼロ)

また今後は、学校での啓発教育、キエーロの試行、SNSやラジオ番組による啓発活動のほか、3Rの考え方を村役場に、「もったいない」という言葉を住民に広めて、宇部市にならった循環型のスピオリ県を目指したいとのことでした。

西スマトラ州パリアマン市の研修員リマさんは、宇部市で実施されている4つの節電運動（まめばち運動、サンサンライト運動、緑のカーテン運動、遅め運転・早め停止運動）やキエーロによる生ごみコンポスト化を実施してみたいそうです。

ショグジャカルタ特別州グワサリ村の研修員ヨガさんは、ごみ分別のより具体的で厳しい条例の義務化、廃棄物の分別・処理の重要性の啓発をSNSや青少年団体、NPOなどを使って進め、また研修をすること、ごみの排出と処理の状況をデータに基づいて管理していくことを進めたい。また、子供の理解を深めるために、ゆるキャラ着ぐるみを使ってイベントによる教育アピールを実施したいこと、などを語っていただきました。

研修員ジャックさんが地元スピオリ県で実践している“TRASH HERO”運動



インドネシア・ブルクンバ県 環境・森林事務所と 環境ウェビナーを共催

「ごみを分別することを学校の子供たちに学ばせたい！」

インドネシアのスラウェシ島南部ブルクンバ県に在住する元研修員からこのような要望が届きました。これを受けて、宇部とインドネシア現地の双方からごみ分別の現状と課題を発表して交流することを企画し、オンライン講演会を実施しました。宇部からは宇部市のごみ分別と処理の状況、および宇部市内小学校でのごみ分別教育と家庭でのごみ分別の実例を紹介しました。現地からたくさんの市民が参加し、数多くの質問があり、盛況に開催することができました。

- ・日時：2023年3月21日(火) Zoomを用いたウェビナー形式
- ・協力：宇部市、宇部市民ボランティア
- ・参加者：宇部 6人、インドネシア 150人

Session #1：「ブルクンバ県の廃棄物管理政策」インドネシア環境・森林事務所長

Session #2：「廃棄物管理における環境にやさしい行動」インドネシア環境・森林事務所職員

Session #3：「宇部市の廃棄物処理の概要」川口修平氏（宇部市廃棄物対策課）

Session #4：「学校のごみ分別活動と家庭のごみ分別の例」西村寛子氏（元教員）

ENVIRONMENTAL WEBINAR UBE IECA

Eco-Friendly Behavior Enhancement with Zero-Waste Lifestyle
(A Lesson & Example from Ube City, Japan)

Organized by:
Bulukumba Environment & Forestry Office
DLHK BULUKUMBA INDONESIA
&
Ube International Environmental Cooperative Association
UBE IECA JAPAN

Meet Our Speakers:

- Opening Speech: Mr. HENDI MATULIDA, President of Ube International Environmental Cooperative Association (UBE IECA)
- Waste Management Policy in Bulukumba: Mr. Affan A. Mallihangan, Head of Bulukumba Environment and Forestry Office
- Establishment of Eco-friendly behavior in Waste Management: Mr. Syariful Bahri, Environmental Impact Management of Bulukumba Environment and Forestry Office
- Overview of Waste Processing in the City: Mr. Shafid KURNIAJUDIR, Waste Management Division, Civic Environmental Affairs Department, Ube City
- Garbage Separation Activities at Schools and Garbage Separation at Home, etc.: Ms. HIKUO NISHIMURA, Former Elementary School Teacher
- Moderator: Mr. Haruka ISHIZUKA Guul

Join Us:
Zoom
Tuesday/March 21, 2023
09:00 - 11:00 WITA
FREE E-Certificate
Limited Participants

Registration:
<https://bit.ly/DLHKxUBEIECA>
For more information:
Vera Sirait +62812288004555
dlhkbk@gmail.com



ウェビナー講演者 集合写真



現地で配布されたチラシ（英語版）



現地事務局 集合写真



現地の学校のごみ箱

新規環境技術研修コースの企画・提案、 研修プログラムの策定

1) (一財)自治体国際化協会(CLAIR)が“環境ヒーロー”育成事業を採択

インドネシア・ブンカリス県の若手公務員、リーダー、学生などが組織したNPO法人SEMESTA (<https://www.semesta.org/>) と宇部IECAが協働し、学齢期の子供や若者達が環境啓蒙活動をリードする“環境ヒーロー”を育成する事業を企画しました。“環境ヒーロー”は周囲の人々に対して持続的に環境意識を高める働きかけを行うことが求められます。この研修をCLAIRへ申請したところ、2023年度の事業として採択されました。

宇部IECAは8月後半の2週間に6名の研修員を受入れ、宇部市、山口大学、県内企業、市民ボランティアの方々など皆様のご協力を得て研修を実施する計画です。



2) マレーシア・ハントゥアジャヤ地区との交流は延期

マレーシア・ハントゥアジャヤ地区評議会から、市長ほか50名の来宇と研修を希望する連絡を受けましたが、その後延期になりました。

「宇部市の廃棄物管理に対する高齢者のコミュニティへの関与」について関心が示されており、再度要請があれば対応していきます。



3) UiTMとMOUを締結、固形廃棄物管理に関する技術協力を継続

UiTM(マレーシア・マラ工科大学)が提案した固形廃棄物管理に関する学生への研修を検討しましたが、所要費用等の理由により延期しました。

今後も環境分野での研修、研究交流など協力関係を促進することを目的に、宇部IECAとUiTMは12月にMOU(覚書)を締結しました。



4) 立命館大学によるJICA草の根技術協力事業(申請段階)へ協力

立命館大学は昨年に続いて2022年度JICA草の根技術協力パートナー型事業に対して「泥炭湿地火災発生地域における地方行政と防火・環境保全能力強化支援～官民学連携による防災と排出権取引の普及に向けて～」(インドネシア)を申請しました。

この中で宇部IECAは日本国内での研修を担当し、宇部方式による宇部市の環境行政、6次産業化・農商工連携による商品開発等の支援、消防署および消防団の活動、耕作放棄地の利用等を企画しましたが、採択には到りませんでした。

開発途上国の青年と環境関連の情報交換

- 1) マレーシア・ペラ州バトゥガジャ地区評議会環境衛生局長(元研修員)の要請を受けて、7月にweb開催した同地区の環境プログラムにおいて、松田理事長が挨拶を行いました。今後この環境プログラムをさらに向上させるため、知識移転などのカウンターパートナーとして宇部IECAの協力が期待されています。
- 2) インドネシア・ジョグジャカルタ市から山口大学工学部(関根教授)に留学していた元研修員(2018年度JICA青年研修事業)が帰国することになり、10月に面談し情報交換を行いました。



1) 環境衛生局長(右側)



環境に関わる情報収集、Webinarなどへの参加

- (1) 4月21日：やまぐち県民活動支援センター「地域づくり2025年までに“待ったなし”webセミナー、SDGsミライティスト「海洋プラスチックごみ」webセミナー
- (2) 5月29日：WWFジャパン生物多様性スクール特別web企画「生物多様性と日本文化～日本の四季、茶道と俳句に見る生物多様性」
- (3) 6月02日：やまぐち県民活動支援センター「コミュニティweb学習会～負担の少ない地域活動への進め方」
- (4) 6月20日：山口県ひとつづくり財団「持続可能な地域づくりweb研修会(SDGs基礎講座)互いのちからを持ちより、山口の課題を同時解決する」
- (5) 6月30日：宇部市環境審議会 第1回
- (6) 7月06日：市民のための環境公開web講座「安定した地球環境を未来に引き継ぐために」
- (7) 7月22日：宇部コンピナート協議会総会
- (8) 7月28日：山口県民活動団体財政・運営基盤強化webセミナー第1回「身近なSNS活用/NPOを活性化させるSNS活用講座」
- (9) 8月23日：webフォーラム「欧州在住者が見る、オランダ・フランス・ドイツ・英国のサーキュラーエコノミー最前線」
- (10) 8月26日& 9月2日：JICA国際協力事業web研修「事業マネジメントコース」(松田理事長)
- (11) 9月07日：市民のための環境公開web講座「誰でも気軽に楽しく食品ロス削減に参加できるクラダシ」
- (12) 9月15日：NPO事務局オンライン「学びの教室 第4回/はじめてのNPO法人の労務～雇い入れから退職までの労務管理～」
- (13) 9月16日：中国地域発展推進会議「地球温暖化対策Web講演会—企業の脱炭素経営に向けた環境省の取り組み」
- (14) 9月17日：うべ環境コミュニティ 特別サロン 食育シリーズ2
- (15) 9月21日：市民のための環境公開web講座「四国一小さな徳島県上勝町から広がるゼロ・ウェイスト」
- (16) 10月15日：特別サロン・地産地消シリーズ2「地域で自給する、種子から育てる」
- (17) 11月07日：宇部北ナト省エネ・温室効果ガス削減研究協議会 令和4年度web研修会
- (18) 11月21日：宇部市環境審議会 第2回
- (19) 12月26日：山口大学地域防災・減災センター第3回国際防災・環境webセミナー「世界と日本のブルーカーボンの最前線」
- (20) 1月11日：うべ環境コミュニティ 環境webサロン第2回「交通手段と健康を考える」
- (21) 2月12日：宇部市生物多様性市民会議「うべの生きものとその暮らしを知ろう」
- (22) 2月17日：やまぐち県民活動センター「著作権を分かりやすく解説」web参加
- (23) 2月15日：うべ環境コミュニティ環境webサロン第3回「山口県における再生エネルギーの地産地消！」
- (24) 2月18日：日本化学工業協会RC委員会宇部支部「宇部地区RC地域対話web集会」
- (25) 3月10日：WWFジャパン生物多様性webスクール2023 第1回「生物多様性と人類」
- (26) 3月11日：ESDうべ推進協議会第3回ESD web研修会「ESDの現状とこれからの課題」
- (27) 3月22日：JANIC-JICA緒方研究所共催ナレッジwebフォーラム「日本の市民や地域の知見を世界に～草の根技術協力事業20年を振り返る」
- (28) 3月29日：宇部市環境審議会 第3回



●●●●●●●●●● 広報活動 ●●●●●●●●●●

(1) 2022年12月18日(日) 宇部市主催、会場：宇部市立図書館2階
「まるごとCOOL CHOICE in Library」において宇部IECAの取り組みを
パネル展示で紹介しました。

2022年度 理事会及び総会

- (1) 理事会：2022年5月24日(火)に開催した理事会において前年度事業報告、新年度事業計画などを審議していただき、承認されました。
- (2) 総会：2022年6月28日(火)に開催し、前年度事業報告、新年度事業計画などを審議していただき、承認されました。

会報

会報第24号を2022年4月に発行しました。



ボランティアのお願い

国際交流 及び 技術支援 のボランティアを募集しております。皆様方の実情に合ったボランティアを積極的に行っていただけませんか。

- <国際交流ボランティア> 今後も海外から多数の研修生が宇部市を訪れます。外国語(英語、スペイン語、中国語等)の会話が可能な方に、休日のホームステイ、宇部市内外の案内等をお願いします。
- <技術支援ボランティア> 環境技術をお持ちの方に、海外研修生のための研修コースの策定、研修生の受け入れ、途上国環境対策調査等をお願いします。

会/員/募/集

宇部IECAは会員の皆様の会費により運営されています。宇部方式は、市民の皆様が積極的に参加するところから始まります。「会員になって一緒に国際交流を活動してみませんか」お知り合いの方々へお誘いをお願いします。

- ・会員数 ●個人会員：120人 ☆法人会員：34団体
- ・年会費 ●個人会員：1口 1,000円 ☆法人会員：1口 10,000円
- ・入会金 無料



発行

宇部IECA

事務所

宇部環境国際協力協会

Ube International Environmental Cooperative Association

〒755-0045 山口県宇部市中央町2丁目11番21号

宇部市まちなか環境学習館 「銀天エコプラザ」3F

TEL&FAX: 0836-36-3199

E-mail: info@ieca.biz

<https://www.ieca.biz>